

次期検討の進め方について(案)

令和3年3月5日
IPネットワーク設備委員会
事務局

IPネットワーク設備委員会における第5次検討の進め方（案）

検討事項

- 通信ネットワークの本格的な仮想化・ソフトウェア化等の進展に対応した電気通信設備の技術的条件【継続検討課題】
 - ・通信ネットワークの仮想化環境における電気通信設備の在り方
 - ・通信ネットワークの運用・管理及びクラウド利用の在り方 等
- 安心・安全で信頼できる情報通信ネットワークの確保のための事故報告・検証制度等の在り方【新規検討課題】
 - ・電気通信事故・障害に関する報告・検証等の在り方
 - ・情報通信ネットワーク安全・信頼性基準等による環境整備の在り方 等

対応方策

- 上記課題について、技術基準による規制で対応すべき事項、ガイドライン等による指針の推奨で対応すべき事項、継続検討すべき課題等を抽出して、対応の方向性を整理するとともに、必要に応じて関連制度の見直しを検討。

スケジュール

- 委員会を定期的開催して検討を行い、関係者ヒアリング、論点整理等を経て、7月頃を目途に一定の方向性を整理した委員会報告をとりまとめ

令和3年(2021年)					
	3月	4月	5月	6月	7月
情報通信技術分科会					一部答申
IPNW設備委員会	3月5日 ・検討開始	ベンダ、キャリア、クラウド事業者ヒアリング、論点整理		6月上旬 パブコメ	7月上旬 ・報告取りまとめ
事故報告・検証制度等TF	TFを設置し集中的に議論				今夏以降 継続検討